

薬液の少量散布私見

トラクターマウント型少量散布機による畑作物（じゃがいも・てん菜）の病虫害防除試験は、一昨年から北海道の２場所で実施していたが、昨年の夏にようやく機会を得て札幌からはるばる２００料をへだてた十勝方面に出かけて、現地試験の実況を目のあたり視察することが出来た。

見はるかす日高山脈を背景とした畑作地帯の、一かくに立った私は、生々と茎葉を繁茂させている「じゃがいも」畑を見て安堵の胸をなでおろしたのである。というのは、この試験の受託を日本植物防疫協会から依頼された当初には、慣行法では１０a当たり約１００ℓに余る液量を散布して防除している現在、濃厚液とはいえ僅か５ℓ内外の液量散布で果たして農家自身が納得するような成果が得られるかどうか実のところ疑心暗鬼の心情であったからでもある。

しかし、目前の「じゃがいも」の茎葉は、慣行散布をしたは場と比較して勝るとも劣らず、疫病やアブラムシ類の発生が少なく、農家も吾々の側に寄って来て、一年でも早くこのような散布機の普及されることを待望する真剣な姿に接しては、私の心配が氷解するのも当然であった。

今年もまた試験を継続するようであるが、少量散布試験の資料が整備され、やがてこの種の防除法の普及する日が訪れるとすれば、畑作地帯の農家にとっては革命的な新技術であるといっても過言では無かろう。

財団法人 日本植物調節剤研究協会

北海道支部長 三島京治

目 次

（第１０巻第２号）

ソビエト連邦の旅……………	2
＜日本植物調節剤研究協会＞ 北陸支部長 木根淵旨光	
1. 日 程……………	2
2. 訪ソへの転機……………	2
3. ソ連の稲作……………	2
4. 見たり聞えたり……………	3
(1) ハバロフスク……………	3
(2) クラスノダール市とクラスノ アルモンスキー国営農場……………	4
5. 雑 感……………	7
多年生畑地雑草ヒルガオ類の生態と防除 技術＜宇都宮大学教授 竹松哲夫＞……………	8
(イ) は じ め に……………	8
(ロ) ヒルガオ類の生態と分布……………	8
(1) ヒルガオ科の重要畑雑草……………	8
(2) ヒルガオ類の害と生態……………	10
(ハ) ヒルガオ類の薬剤防除研究……………	10
(ニ) ヒルガオ類の防除技術……………	13
(1) 適剤の選定……………	13
(2) 適量の使用……………	13
(3) 適期に使用……………	13
(4) そ の 他……………	13
昭和５０年度カンキツ関係除草剤・ 生育調節剤試験成績概要……………	13
＜日本植物調節剤研究協会＞	
昭和５０年度リンゴ関係除草剤・生 育調節剤試験成績概要……………	20
＜日本植物調節剤研究協会＞	
昭和５０年度落葉果樹関係除草剤・ 生育調節剤試験成績概要……………	24
＜日本植物調節剤研究協会＞	